

# 第131期 中間報告書

自 平成24年4月1日 → 至 平成24年9月30日



日本冶金工業株式会社  
(<http://www.nyk.co.jp/>)

証券コード 5480



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



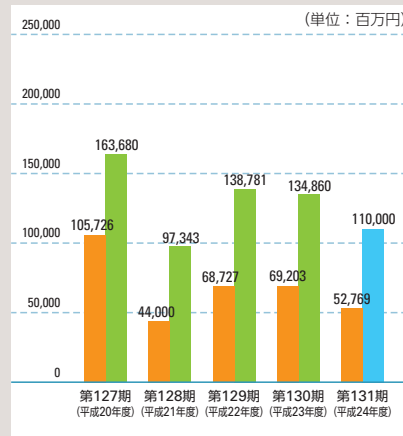
日本冶金工業株式会社

【表記に関する注記】  
 ※ 本中間報告書における収益関連数値につきましては、期初からの「累計値」を用いています。したがって、「第2四半期」と表記されている数値は、当該期における第1四半期（4/1～6/30）と第2四半期（7/1～9/30）との合計値を意味します。

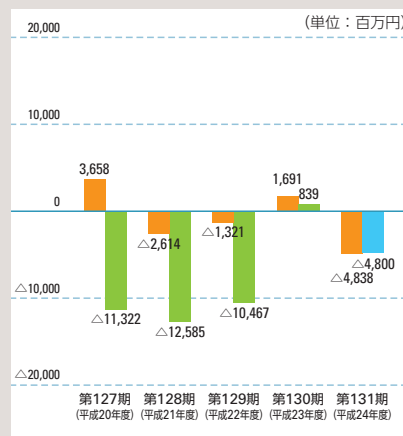
※ 本中間報告書における決算数値につきましては、原則としてそれぞれの数値の百万円未満を四捨五入した上で表記しております。したがって、例えばP3「②売上高の推移」の「■売上高（単体）」のグラフにつきまして、各期（各年度）の左側（ステンレス鋼板、高機能材、その他）の数値の合計と、右側（国内、輸出）の数値の合計は、本来同一のものです。が、個別の数値を四捨五入して表記していることから、「合計」値に一部相違が生じる場合があります。また、各財務諸表上も、各科目を加算した値と「合計」値とが、必ずしも一致しない場合があります。

## 【連結データ】

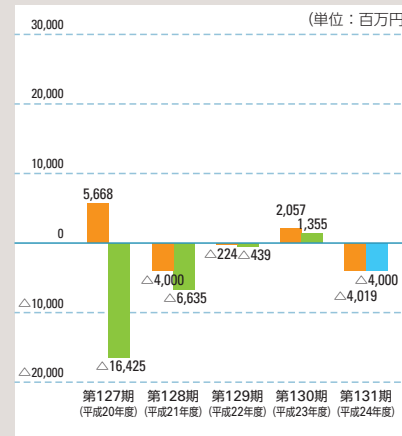
### 売上高



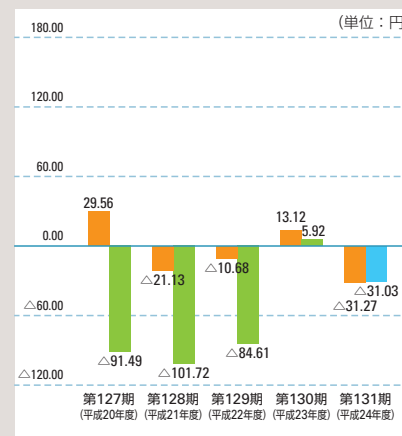
### 当期純利益（△損失）



### 経常利益（△損失）



### 1株当たり当期純利益（△損失）



代表取締役社長

杉森一太

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第131期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当上半期におけるステンレス特殊鋼業界におきましては、欧州の金融危機や中国の景気減速により、需給ギャップが拡大する状況となりました。また、販売価格や需給関係に大きな影響を持つ主原料のニッケル価格が月を追うごとに下落する傾向を示したこともあり、先安感から国内外の市場は低迷が続きました。さらには、歴史的な円高の進行・継続が輸出環境の悪化と安価な輸入材の増加をもたらし、業界各社は非常に厳しい対応を迫られることになりました。

このような経営環境の下、当社グループは中期経営計画「変革2011」に則り、グローバル市場における成長戦略を図るべく、米国シカゴ・中国上海に続き、欧州ロンドンの駐在員事務所を現地法人化し、世界各地での需要動向調査・情報収集・受注活動を一層強化いたしました。その結果、昨年度まで活況を呈した太陽光関連案件こそ一段落したものの、天然ガスや火力発電などのエネルギー関連、排煙脱硫装置などの環境関連、そのほか航空機金型などの多岐にわたる分野において販売実績を積み上げました。また、グループの販売・加工子会社においては、販売体制とコイルセンター機能の効率化を目的とした統合を実施するとともに、製造拠点である当社川崎製造所においては、高機能材の製造プロセスの革新として、品質・コスト・納期における競争力強化に向けた設備改造を進めました。

しかしながら、前述のような経営環境悪化を跳ね返すまでには至らず、上半期の経常損益および最終損益につきましては、遺憾ながら赤字決算となりました。このような厳しい収支状況から、株主の皆様には誠に申し訳なく存じま

すが、中間配当を見送らせていただくことといたしました。また、足元の厳しい経営環境や需給バランスが大きく好転することが当面は期待できないとの認識により、上半期の決算発表とあわせて、期末の業績予想の下方修正も公表いたしております。このことから、株主の皆様には重ね重ね申し訳なく存じますが、期末配当予想につきましても、無配とさせていただきますことといたしました。

今後の景気動向につきましては、欧州における金融危機の長期化や、日中間の政治的軋轢による経済活動への影響などが懸念され、引き続き不透明な状況が続くものと考えられます。

そのような中、当社グループにおきましては、中期経営計画「変革2011」の2本柱である「グローバル市場における成長戦略」および「競争力強化に向けた施策」を通じ、早期の業績回復を目指します。

「グローバル市場における成長戦略」といたしましては、米・中・欧の現地法人およびバンコクの駐在員事務所の海外拠点と国内のソリューション営業部や品質保証部との連携により、顧客ニーズを深く捉える「ソリューション営業」（顧客本位の問題解決型営業）の徹底化を進めます。「競争力強化に向けた施策」といたしましては、多工程を必要とする高機能材製造プロセスの改革として、一般材の製造に近い負荷での生産を可能とするための「汎用ルート化」の進捗率を上げるとともに、原料面においては、ニッケル鉱石の品位・性状・輸入先の多様化を踏まえ、品質向上とコストダウンを両立させる自社製錬体制の整備をおこないます。

以上に加え、先般策定した「総コスト削減計画」に基づき、販売製品構成の見直し、総固定費の削減、高機能材コストダウン策等を推し進め、コスト構造のさらなる改革により収益の改善を図ります。

われわれは、こうした施策を通じ、厳しい経営環境下でも黒字を計上できる企業体質・経営基盤を実現してまいり所存でありますので、株主の皆様におかれましては、なにとぞ絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月

- 目次
- 財務ハイライト ..... 1
- 株主の皆様へ ..... 2
- 事業概況 ..... 3
- 連結財務諸表 ..... 5
- 会社の概要 ..... 7
- 活動報告 ..... 8

### ① 概況

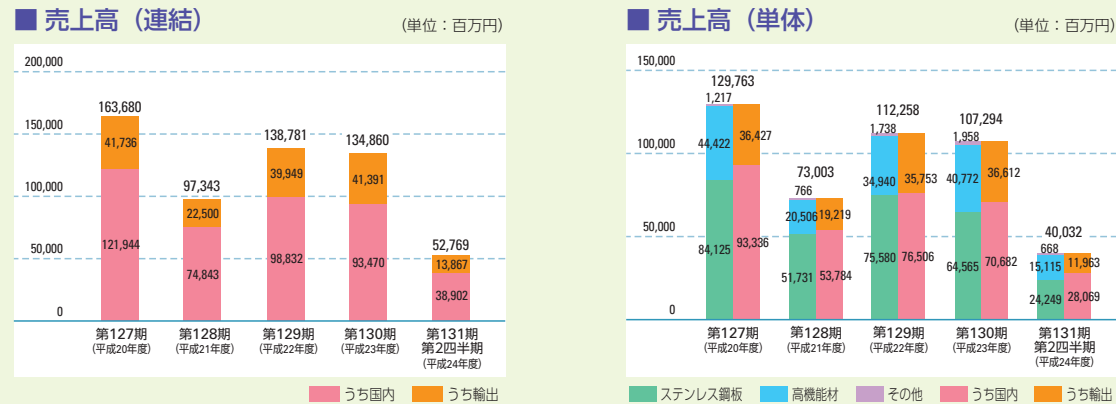
当第2四半期におけるステンレス特殊鋼業界におきましては、海外市場においては欧州の景気悪化が新興国経済にも深刻な影響を及ぼし、なかでもこれまで世界経済を牽引してきた中国の景気減速が鮮明となる展開となりました。また、国内市場においても打ち続く円高が国内の経済活動にも影を落とす流れとなるなど、期を通じて需要は低調のまま推移しました。

このような経営環境の中、当社では高機能材の海外需要確保に向け、現地法人設立などの施策を実施してまいりましたが、世界的な景気減速や中国の成長鈍化などから売上数量は高機能材、一般材とも前年同期比約11%の減少を余儀なくされました。

この結果、当第2四半期の連結売上高は前年同期比23.7%減の527億69百万円となりました。

なお、連結売上高527億69百万円のうち、国内売上高は389億02百万円、輸出売上高は138億67百万円となっております。

### ② 売上高の推移



### ③ 当社売上高内訳表

区 分		第130期第2四半期 (A)	第131期第2四半期 (B)	前年同期比 (B/A)
高 機 能 材	販売量 千 t	21.5	19.0	88.5%
	売上高 百万円	21,329	15,115	70.9%
ステンレス鋼板	販売量 千 t	97.5	86.7	88.9%
	売上高 百万円	33,905	24,249	71.5%
そ の 他	売上高 百万円	858	668	77.8%
合 計	売上高 百万円	56,092	40,032	71.4%
う ち 輸 出	売上高 百万円	18,846	11,963	63.5%

### ④ 重要な子会社の状況

平成24年9月30日現在

会 社 名	資本金 百万円	議決権の所有割合 %	主要な事業内容
ナ ス ト ー ア 株 式 会 社	1,200	100.00	ステンレス鋼および高機能材の溶接鋼管の製造ならびに販売
ナストーア溶接テクノロジー株式会社	100	100.00	電気溶接機および関連装置の製造ならびに販売
ナ ス 鋼 帯 株 式 会 社	682	100.00	ステンレス磨帯鋼製造ならびに販売
ナ ス 物 産 株 式 会 社	560	98.21	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
ク リ ー ン メ タ ル 株 式 会 社	200	100.00	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
ナスクリエイト株式会社	90	100.00	ステンレス製品梱包用資材の販売および損害保険代理業
ナスエンジニアリング株式会社	102	100.00	設備設置工事、他エンジニアリング事業
ナ ス テ ッ ク 株 式 会 社	100	100.00	特殊鋼・ステンレス鋼の製造・加工に係わる作業受託業務
宮 津 海 陸 運 輸 株 式 会 社	32	100.00	港湾運送、貨物自動車運送、通関業ならびに加工砂の販売
NAS TOA (THAILAND) CO.,LTD.	千バツ 220,000	100.00	ステンレス鋼管および加工品の製造販売

(注) 議決権の所有割合には間接所有割合が含まれております。

### ⑤ 総コスト削減計画の概要

- 骨子
    - 直面する厳しい市場環境下、販売製品の構成を見直し、固定費も含めた総コストを削減（効果53億円/年換算）することにより2013年度の経常黒字化を実現する。
  - 施策および効果（年換算）
    - 販売製品構成の見直し
      - 汎用ステンレス分野において、製品・市場毎にその収益性、将来性を検討し、採算性を重視した取り組み方針を明確にする。
      - 高機能材分野に経営資源をより集中させることにより、収益性の改善、安定収益の実現を図る。
    - 生産総量に見合った総固定費削減
      - 設備集約等による減価償却費等の削減 7億円
      - 総人件費の削減 10億円
    - 高機能材コストダウン策等
      - 高機能材の汎用ルート化(\*)の拡大 18億円
      - 自社製錬フェロニッケル効果拡大 13億円
      - その他 5億円
- (\*) 高機能材製造プロセスにおいて、当社独自の技術改善や所要の設備投資を実施することで汎用ステンレス並みの負荷で高機能材生産を行うことを「汎用ルート化」と呼んでおります。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期末	前 期 末
	平成24年9月30日現在	平成24年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	58,554	68,461
現金及び預金	11,259	15,130
受取手形及び売掛金	17,894	23,829
商品及び製品	6,316	6,307
仕掛品	15,342	14,188
原材料及び貯蔵品	7,382	8,586
その他	943	1,059
貸倒引当金	▲ 583	▲ 638
固定資産	80,946	81,408
有形固定資産	75,667	74,558
建物及び構築物	13,373	13,492
機械装置及び運搬具	21,168	19,727
土地	39,291	39,027
その他	1,835	2,312
無形固定資産	1,081	1,241
投資その他の資産	4,198	5,609
投資有価証券	3,431	4,811
その他	824	850
貸倒引当金	▲ 57	▲ 52
資産合計	139,500	149,869

### POINT 流動資産

売上高の減少にともなう売上債権の減少により、「受取手形及び売掛金」が前期末比約59億円減少しております。

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前 期 末
	平成24年9月30日現在	平成24年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	66,542	69,995
支払手形及び買掛金	18,226	20,702
短期借入金	30,822	30,430
1年内返済予定の長期借入金	10,965	12,187
賞与引当金	801	796
その他の他	5,728	5,880
固定負債	40,859	42,046
長期借入金	19,806	21,104
退職給付引当金	9,315	9,295
環境対策引当金	65	65
その他	11,673	11,582
負債合計	107,401	112,040
(純資産の部)		
株主資本	30,451	35,399
資本金	24,301	24,301
資本剰余金	9,542	9,542
利益剰余金	▲ 3,261	1,688
自己株式	▲ 132	▲ 132
その他の包括利益累計額	1,621	2,402
その他有価証券評価差額金	▲ 126	620
繰延ヘッジ損益	1	▲ 2
土地再評価差額金	1,832	1,832
為替換算調整勘定	▲ 85	▲ 47
少数株主持分	27	28
純資産合計	32,099	37,829
負債純資産合計	139,500	149,869

(注記)

受取手形割引高	2,432	1,970
受取手形譲渡高	413	357

### POINT 有利子負債

長短合わせた借入金総額は、前期末比約21億円減少しております。

### POINT 純資産

当第2四半期末における自己資本比率は23.0%となりました。

## 四半期連結損益計算書

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
売上高	52,769	69,203
売上原価	50,982	61,215
売上総利益	1,787	7,988
販売費及び一般管理費	5,083	5,170
営業利益又は営業損失(▲)	▲ 3,296	2,818
営業外収益	218	178
受取配当金	73	84
固定資産賃貸料	64	19
その他	81	76
営業外費用	941	939
支払利息	578	569
その他	363	370
経常利益又は経常損失(▲)	▲ 4,019	2,057
特別利益	7	7
特別損失	750	303
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(▲)	▲ 4,762	1,761
法人税等	79	69
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(▲)	▲ 4,840	1,692
少数株主利益又は少数株主損失(▲)	▲ 3	1
四半期純利益又は四半期純損失(▲)	▲ 4,838	1,691

(注記)

1株当たり四半期純利益又は四半期純損失(▲)	▲31.27	13.12
------------------------	--------	-------

### POINT 売上高及び営業損益

ステンレス特殊鋼業界におきましては、欧州の景気悪化が新興国経済にも深刻な影響を及ぼし、とりわけステンレス特殊鋼製品の主要輸出先である中国の景気減速が鮮明となる展開となりました。また、国内市場においても打ち続く円高が国内の経済活動にも影を落とす流れとなるなど、期を通じて需要は低調のまま推移しました。また、為替相場は期を通じて70円後半の円高水準が続き、輸出品の収益性は厳しいものとなりました。この結果、売上高は前年同期比23.7%の減少、営業損益は約33億円の損失となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	754	▲ 720
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(▲)	▲ 4,762	1,761
減価償却費	2,246	2,467
退職給付引当金の増減額(▲は減少)	21	▲ 104
受取利息及び受取配当金	▲ 74	▲ 84
支払利息	578	569
投資有価証券評価損益(▲は益)	115	216
売上債権の増減額(▲は増加)	5,960	620
たな卸資産の増減額(▲は増加)	41	▲ 3,413
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲ 2,494	▲ 2,456
その他	▲ 349	78
利息及び配当金の受取額	74	84
利息の支払額	▲ 547	▲ 569
法人税等の支払額又は還付額(▲は支払)	▲ 55	▲ 111
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,823	▲ 1,238
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 2,845	▲ 1,438
その他	22	200
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,800	4,010
短期借入金の純増減額(▲は減少)	445	2,026
長期借入れによる収入	3,580	1,908
長期借入金の返済による支出	▲ 6,126	▲ 3,692
割賦未払金の増加による収入	710	—
株式の発行による収入	—	4,082
その他	▲ 410	▲ 313
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 47	▲ 59
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲ 3,917	1,993
現金及び現金同等物の期首残高	15,081	6,724
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	50	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,214	8,717

取締役および監査役

平成24年9月30日現在

代表取締役社長	杉森一太
代表取締役	木村始
取締役	野中章男
取締役	諸岡道雄
取締役	笹山眞一
取締役	久保田尚志
常勤監査役	飯盛孝夫
常勤監査役	櫛木一男
監査役	山口宗一
監査役	稲垣多津夫

(ご参考)  
監査役のうち、櫛木一男および稲垣多津夫の2氏は社外監査役であります。

執行役員

平成24年9月30日現在

執行役員社長	杉森一太
執行役員副社長	木村始
専務執行役員	野中章男
専務執行役員	諸岡道雄
常務執行役員	笹山眞一
常務執行役員	久保田尚志
常務執行役員	中谷一憲
常務執行役員	橋之口眞正
常務執行役員	堀内晃喜
執行役員	高橋博二
執行役員	池上雄二
執行役員	野田真人

会計監査人

平成24年9月30日現在

八重洲監査法人

国内拠点

平成24年9月30日現在

本社	東京都中央区京橋一丁目5番8号(三栄ビル) (☎104-8365) 電話(03)3272-1511
東京支店	東京都中央区京橋一丁目5番8号(三栄ビル) (☎104-8365) 電話(03)3273-4621
大阪支店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号(興銀ビル) (☎541-0043) 電話(06)6222-5411
名古屋支店	名古屋市中区栄町二丁目3番6号(NBF名古屋広小路ビル) (☎460-0008) 電話(052)211-1102
九州支店	福岡市中央区天神一丁目15番6号(綾杉ビル) (☎810-0001) 電話(092)722-4170
広島支店	広島市中区紙屋町二丁目1番22号(広島興銀ビル) (☎730-0031) 電話(082)243-0039
新潟支店	新潟市中央区東大通一丁目4番2号(COI新潟ビル) (☎950-0087) 電話(025)247-9261
川崎製造所	川崎市川崎区小島町4番2号 (☎210-8558) 電話(044)271-3012
大江山製造所	京都府宮津市宇須津413番地 (☎629-2251) 電話(0772)46-3121

海外事務所

平成24年9月30日現在

バンコク駐在員事務所

(ご参考)  
上記の他に海外における拠点として、中国上海に現地法人「日邦冶金商貿(上海)有限公司」、米国シカゴに現地法人「NIPPON YAKIN AMERICA,INC.」、欧州ロンドンに現地法人「NIPPON YAKIN EUROPE LIMITED」があります。

上海現地法人「日邦冶金商貿(上海)有限公司」セミナー開催

さる平成24年7月20日、中国上海の「オークラグーデンホテル上海(花園飯店上海)」において、当社の高機能材(高ニッケル合金、特殊ステンレスなどの製品群)のPRとグループの上海現地法人「日邦冶金商貿(上海)有限公司」の開所式を兼ねたセミナー(製品討論会)が開催されました。上海現地法人は、成長する中国市場での事業活動を拡大するため、当社および販売子会社のナス物産(株)のそれぞれの上海駐在員事務所を統合・拡大する形で設立されたものです。



中国の大学・研究機関、中国企業、日本の中国現地法人の関係者など200人を超える来場者で会場は盛況となりました。



日本冶金工業(株)产品研讨会  
主题: 超级不锈钢及镍基合金系列

(和訳)  
日本冶金工業(株) 製品討論会(セミナー)  
主題(テーマ): スーパーステンレスおよびニッケル合金製品群

平成20年の初回(参加人数約150人)から約4年ぶり、今回で2回目の開催となるセミナーには中国の大学・研究機関、中国企業、日本の中国現地法人の関係者など200人超が参加し、当社の会社概要、高機能材の紹介のほか、技術開発の概要、高機能材の適用事例、大型プロジェクト案件などについて、当社の技術研究部門長や技術営業部門の責任者がプレゼンテーションをおこないました。来賓の中国特殊企業協会不銹鋼(不銹鋼はステンレスの意)分会の李名誉会長、北京科技大学の謝教授(金属工学)からは、当社の中国市場での実績が着実に伸びている点や、今回のセミナー開催も含め高機能材の周知・販売拡大活動に注力していることについて高い評価をいただきました。

今後も拡大が期待される中国高機能材市場において、当社グループは上海現地法人を足がかりに強固な地位を占めていきたいと考えております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ ( <a href="http://www.nyk.co.jp/">http://www.nyk.co.jp/</a> ) といたします。  ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 【株式に関するお手続きについて】

### 1. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>・単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>・住所、氏名等のご変更</li> <li>・特別口座の残高照会</li> <li>・配当金の受領方法の指定（※）</li> </ul>	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711（平日9：00～17：00）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【お手続き用紙のご請求方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479</li> <li>○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> いずれも24時間受付</li> </ul> </div>

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例分配方式はお選びいただけません。

### 2. 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711（平日9：00～17：00）
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	